

実施報告

森町立森小学校

* 学級数 16 * 児童数 356

支援員学校名	職名	氏名	専門分野
北海道長万部高等学校	教諭	吉 田 修 介	化学

【ねらい】 小学校第6学年「太陽と月の形」の単元において、月の形が日によって変わって見えるのは太陽と月の位置関係が日々少しずつ変わることによって月の明るく見える部分が少しずつ変わることを理解させる効果的な実験の指導方法を学ぶ。

【日 時】 9月14日（木）13：30～15：05

【場 所】 森小学校理科室

【参加者】 62名

【内 容】 ・ 太陽と月の簡易モデルを活用した少人数グループでの観察



【本事業の成果を活用した授業の改善】

本校では、支援員から学んだことを生かし、学習過程および少人数グループでの観察・実験の教育的効果の有効性の実践に取り組んだ。

1 指導の工夫

- ・ 児童に予想をさせる際に、個人で予想させた後にグループで話し合いを行うことで、一人一人の考えを深めさせた。
- ・ T1が児童一人一人の考えを聞き、児童が説明する機会を保障したり、T2が児童の意見を整理しながら構造的に板書したりするなど、TTの充実を図ることで、学習意欲の向上を図った。
- ・ 月を発砲スチロールのボールで作成し、LED電灯を太陽として活用するなど、実験器具の数を増やすことで、全員が実験に参加できる授業を構築した。



2 授業での児童の様子

- ・ 実験では、少人数でのグループ活動を充実させたことで、全員が実験に関わる事ができた。児童は「太陽」「月」「地球（人）」の役割分担をしながら、意欲的に実験に取り組んでいた。
- ・ 実験器具の数を増やしたことで、月の形が変わることには太陽と月の位置関係が関わっていることについて、実験器具で確かめながら理解を深める事ができた。